

K - ふれあいネット



発行：平成30年9月7日

上都賀教育事務所ふれあい学習課：鹿沼市今宮町 1664-1 TEL0289-62-7167

上都賀地区 地域連携教員等研修会

7月31日（火）に日光市中央公民館において上都賀地区の地域連携教員等研修会を実施しました。今回は、地域連携教員のほか学校と地域の連携活動に取り組む地域コーディネーター・学校支援ボランティアの方々にも参加いただき、学校側と地域側の関係者が一堂に会する貴重な機会となりました。

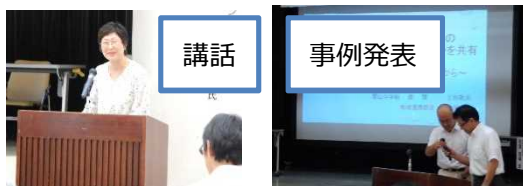
とちぎ協働デザインリーグ主任研究員の小針協子様による講話や日光市立栗山小中学校の事例発表・インタビューフォーラム、ワークショップ（「熟議」体験）を通して、「協働」とは何かについて改めて確認するとともに、学校と地域が目標やビジョンを共有するための一つの方法として「熟議」のあり方を提案することができました。

研修会終了後、実施したアンケートには、

・「協働」「熟議」について理解を深めることができました。実際にグループで実践してみたことを学校に持ち帰って校内研修やPTAとの研修等でやってみようと思います。（地域連携教員）

・同校のボランティアさん、地域連携の先生とゆっくり話をして目的を共有できるといいなと思いました。そこから、これからどのようにしていったらいいのか見えてくるのかな・・・と思いました。（地域コーディネーター）

などの感想が寄せられており、「『学校×地域』協働の気運を高める」という所期のねらいを十分に達成することができました。



「地域学校協働活動」の推進に向けて



去る8月8日（水）、菊沢コミュニティセンターでNPO法人かめま市民活動カポーターズ主催（栃木県教育委員会後援）の「ふらっと協働プロジェクト事業」が実施されました。地区内で活動する約30の団体から、学校の授業をはじめ子どもたちに提供できる体験学習のプログラムが紹介された後、11名の先生方も交えて現在の子どもたちをめぐる心配事や地域の未来を担う子どもたちに伝えたいことなどが話し合われました。学校だけが子どもの教育を担うのではなく、「地域ぐるみで子どもたちの成長を支える（べき）」という理念は社会の中に浸透しつつあると思われます。一方で、学校・家庭・地域の関係者間で子どもたちのどんな資質や能力をどのようにして育てていくのかということまで議論（熟議）されているケースは少ないのではないのでしょうか。今回のような取組を通じて、「育てたい子ども像」などの目標やビジョンを共有し、一人一人が子どもの成長に関わる「当事者」であるとの意識を高めることが「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に向けた「協働」につながるものと考えます。



上都賀地区の社会教育・ふれあい学習に関する情報は・・・

上都賀 ふれあい

検索



上都賀地区 PTA指導者研修Ⅰ

7月10日(火)に日光市中央公民館において、上都賀地区PTA指導者研修Ⅰを実施しました。「子どもの実力を発揮させるための保護者のメンタルトレーニング」と題して、作新学院大学 笠原 彰 教授に御講演いただきました。笠原教授は、大学でスポーツ心理学を中心に教鞭をとられるかたわら、スポーツメンタルコンサルタントとしてトップアスリートから中高生への指導、一般企業におけるメンタルトレーニング等も手がけるなど幅広く活躍中の先生です。

講演では、保護者や指導者自身が思考や行動をコントロールすることで、子どもが目標に向かって努力したり、力を発揮したりする環境づくりをしていくことや、効果的な子どものほめ方等について、応用スポーツ心理学に基づいてお話いただきました。参加者からは「娘達への接し方、言葉かけ、自分のあり方などを考えさせられる、とてもためになる講演でした。」「子どもの行動についてほめる、安らげる家庭をつくる、料理が得意になるように・・・などすぐにできることや努力すべきことが分かりました。」など、講演から自分自身を振り返り、今後に役立てようとする感想が多くありました。

後半は、外国人の人権、地域課題の解決、子どものほめ方・しかり方、読書活動の4つの分科会に分かれて、参加者同士がそれぞれのテーマについて話し合いました。参加者からは、「外国人に限らず、様々な人権を考える機会となりました。」「学校評議員会や地域教育協議会場でぜひ取り入れたい。」「子ども目線の大切さを知り、様々な考え方や意見を聞いて良かったです。」「読書を通して話を深めることができました。子育て、教育には、まず自分自身が豊かでありたいと思いました。」などの感想がありました。

PTA指導者としてそれぞれの立場の参加者が、じっくりと話し合う機会をもつことができ、新たな気づきを得たり、これから生かすきっかけにしたりすることができました。

講演会の運営や進行など、地区小中高PTA連絡会の役員の皆様に御協力をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。



「なま」の体験がもたらす感動 in 上都賀

「なま」で直接、演劇を楽しんだり、音楽を鑑賞したりするのは子どもたちにとってかけがえのない経験になります。それは、写真や映像などでは感じることができない息遣いや雰囲気を感じられるからだと思います。

今年度も県教育委員会は、管内各市教育委員会、学校と連携しながら、「『なま』の感動」を地区内の子供たちに届けています。

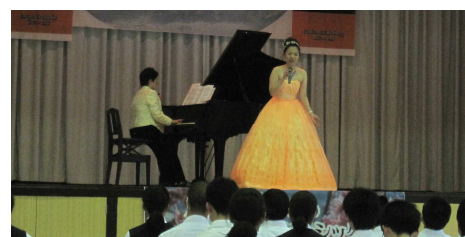
右上側の写真は、小林小学校で行われた巡回公演(演劇)の様子です。報告書には、「舞台の照明が目に入り、それだけで演劇に入り込みました」や「公演中のおどけた場面では体を躍らせて一緒に笑い、しみりとした場面では目を見開いて集中していました」とあり、劇団が学校に直接訪問することの意義を改めて感じさせられました。

また、右下の写真は、日光中、栗野中で公演してくださった平井様の公演の様子です。鹿沼市在住の皆様の中には、栗野中学校での公演の様子を鹿沼ケーブルテレビで御覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、生徒たちは、平井様の笑顔、のびやかな歌声、軽快なピアノ演奏に酔いしれているようでした。

同様に、他校での様々な公演でも子どもたちのたくさんの感動の声がぞくぞくと届いています。今後もこれらの事業は続く予定ですので、学校に募集要項等が送付されましたら、ぜひ、御検討ください。



栃木県巡回公演(演劇)事業
「あらしのよるに」らくりん座 in 小林小



文化芸術による子供の育成事業
「Dr.りえのおしゃれなクラシック」
平井李枝・彰子両氏 in 日光中・栗野中